

かまた礼二の議会だより

発行者

塩竈市議会議員 鎌田礼二

〒985-0077 塩竈市梅の宮 1-26

• TEL & FAX 022-365-9626

• mail kamata02@c-marinet.ne.jp

第2号

2009年2月15日発行

三島善治『かまた礼二後援会』会長挨拶



後援会の皆様 大変遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。今年も宜しく願い申し上げます。

その後、お変わりございませんでしょうか。いつも

鎌田礼二後援会に一方ならぬ御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年8月、第1回議会だよりを発行致しました所、各方面から大変な好評を頂きました。議会の内容、議員の仕事、各種の質疑応答等、今まで分からなかった議会の活動が身近に感じられました。鎌田議員は今、所属会派(ニュー市民クラブ:9名)の中核として頑張っております。

皆様、一人一人の声を市政に反映すべくこれからも日々努力して参ります。尚、一層の御支援と御理解を宜しく願い申し上げます。

議会活動に期待して！！

塩竈市議会ニュー市民クラブ



幹事長 菊地 進

9人会派の幹事長として議会運営が如何にスムーズに運営され、そして58,600人市民の役に立って、市民から必要とされる議員で無ければならないと

常に会派議員に呼びかけております。それには、常に一般会計の総額を心の中に置きながら大切な皆様の税金が市民住民の為に活用されているのか、無駄無理が無いのか、行政運営は市民によく理解されている事業か、等々、鎌田礼二議会運営委員(議員)と議論しております。

鎌田議員とは偶然にも保護司活動も同じです。保護司は客観的洞察が求められ、この保護司活動が議員として大いに役立っていると思います。

今、現在の一般会計の総額は184億4,849万9千円です。この金額が市民の為に本当によく運営されているか、鎌田議員はじめ会派全員が注意深く行政に対して市民の代弁者として活動しております。



昨年6月の一般質問で

元気に議会活動！！

みなさんのお陰により、元気に議会活動をさせて頂いております。ありがとうございます。

市民の皆さまの意見をストレートに伝えるべく、昨年の6月と12月の定例議会で一般質問をさせていただきました。また、予算委員会での質疑は勿論のこと、委員会活動でも活発に発言をさせていただいております。

昨年9月開催の『平成19年度決算特別委員会』では委員長の任命を受け、無事委員長として責務を果たすことが出来ました。これも皆様から議会に送り出していただいたのことに感謝申し上げます。

また、昨年11月24日には外務副大臣の伊藤信太郎先生をお迎えし、私の議会活動報告会を開催させていただきました。活動の一端を伝えることが出来たと思っております。こういった議会活

動報告会を毎年開催いたしますので、ご協力をお願い致します。

私はこれかれも、幅広く活動を続けて行きたいと思っております。定例議会での一般質問や委員会での質疑で伝えて行きたいと思っておりますので、市民の皆様のご「ご意見」、「ご要望」、「困りごと」等ありましたらお寄せ下さい。



今年度(H20年度会計)の予算委員会

「平成20年度予算特別委員会」が、3月3日から6日まで開催されました。

一般会計については3月4日に、市立病院や魚市場等の特別会計については3月6日に質問に立たせて頂きました。

一般会計に対する私の主な質問 ⇒ 市の回答

①私は、市長の施政方針と予算が連動するものと考えている。市長の施政方針でお年寄りを大切にすると述べており、また高齢化率が25%というのに予算額が3億4,500万円と前年度よりマイナス予算となっているのはなぜか？

回答 本年度より後期高齢者医療会計関連で予算組が変わっている。その分による減少が大きいと考えている。

②今年市立病院の改革プランをつくり進むとしておりますが、約4億の支出は多いと思いませんか？

回答 市立病院への繰出金は4億4,000万円を計上している。通常の繰出しを4億2,000万円、残りの2,000万円は改革プランづくりに要する経費です。

③市長の市政方針で水産振興をうたっていますが、予算は約1億円減額されているのは何故か？

回答 昨年度の漁業経営基盤等整備事業(桂島のカキ処理施設とノリの種苗生産施設)が終わった為であり、その他の経費については平成19年度と変わりはない。

④少子化対策として富山県が、全国一の出生率となっている。様々な手を打っている。この塩竈のファミリーサポートセンターの運営費が、減っているのか？増えているのか？

回答 昨年と同額である。

⇒[鎌田礼二]塩竈市の人口が減っている中、子育てに関する力を投入していかないといけない。次年度については、そういった対策を盛り込んでいただき、予算も増やして頂きたい。

⑤宮城県沖地震の発生が騒がれておりますが、「木造住宅の耐震関係改修工事の助成金」と「耐震診断などの委託料」とあるが、お金の使い方が違うのかどうかお聞かせ下さい。

回答 「耐震診断」の方は、木造住宅の耐震に対しての建築士に診断してもらうことに対する補助である。「耐震改修工事助成金」は、診断後に改修工事が必要な場合の助成金である。

⇒[鎌田礼二] 助成金より診断の方が高いが、どうしてなのでしょう？

⇒[市側] 診断の方が40件ほど、単価として136万。工事改修工事は、上限で30万、一般的に大体20万くらいの助成です。

⇒[鎌田礼二] ちょっと金額的に少ないのではないかと思います。増やせるのであれば増やして頂きたいなという心情です。

⑥学校関係の自働体外式除細動器、AEDの設置についてですが、市内全校一斉につけないといけないと私は思いますが、何校ぐらいの予定か？

回答 昨年度から中学校5校に配置しており、新たに本年度小学校6校すべてに配置したいと考えています。

⑦いろいろな部署での事務機器など賃借に伴うパフォーマンス料の内容についてお聞かせ下さい。また、どの部署でも食糧費がちょこちょこ出てきますが、どんな使われ方をするのか？

回答 事務機器の故障などの対応であるとか、年間の点検であるとか、保守料です。それから食

糧費ですと、市で設置しております審議会等のお茶とか、そういったものです。

議会報告会



特別・企業会計に対する主な質問 ⇒ 市の回答

①市立病院の会計に関してですが、改革プランの作成として2,000万円、その他4億2,000万円が繰入金になっている。“市長の施政方針に委員会を設置して、これを改革するとうことで取り組みます。”と力強く書かれておりますが、予算に繰越金も繰入金を最初から含めてあること自体が、この改革プランにかかる意気込みは本物なのか？ 市長の見解をお聞かせ下さい。

回答 17年から19年の再生緊急プランに取り組む際に、4億2,000万円の繰出金の中で病院の経営健全化を図るような取り組みをさせていただいてまいりました。こういう形で何とか単年度の収支均衡を図らせていただきたいというような予算になっている。

⇒[鎌田礼二] 改革プランをつくり改革するという意気込みから考えると、繰出金をなしに進める、そういう意気込みが私は必要じゃないかと思いますが、無理なのでしょうか？

また、この改革プラン作成の構成人員とか開催時期、それから方向性をお聞かせ下さい。

⇒[市側]当初で予算計上されているということで、この分につきましては改革プランとは特に直接は関係ないというふうに考えています。

メンバーは病院経営に知見を有する学識経験者として東北大教授とか、塩釜保健所長とか、塩釜医師会、宮城県の関係部局、塩竈市、行政の方の代表、それから住民の代表、市議会からも参加をいただきたい。できれば4月ぐらいに第1回の検討委員会を開催し、遅くとも今年いっぱいには答申を取りまとめて県と国の方に申請したい。

⇒[鎌田礼二] 市立病院を改革し、黒字化し今までの累積赤字を返して、なおかつ市民に貢献するような病院になっていただきたい。

また、患者さんを集める方法として、がんの早期診断のPETを導入すれば、大幅に増えるのではと思いますがどうでしょうか？

⇒[市側]具体的に把握していないが、かなりの費用を要しますし、あるいはランニングも非常にかかってきますので導入は考えられない。

⇒[鎌田礼二] 二市三町ないしは石巻なんかも含めて、そういった人達が訪れるような設備があれば、それが契機になって市立病院もかなり元気になるんじゃないかとPETに限らず何かいいものがあれば考えていただきたい。

②昨年9月の定例議会で一般質問をさせていただいた「市立病院で働いている人達の意識改革」について、その後の経過をお聞かせ下さい。

回答 外来の看護師は人件費の圧縮を図る為、一定程度の看護師が常勤から非常勤に切りかえる取り組みをしている。市立病院の経営状況等を東北大学の教授の方にお話し申し上げ、今年も第三内科の方からお一人、第一内科の方からもう一人、医師の派遣が内定している。昨年9月から、当直をした翌日の午後からは、勤務に差支えない限り、職専免として休めるような勤務体制にした。

行政視察での挨拶 愛知県東海市で



平成20年6月の定例議会での質問

※紙面の関係で私の質問のみを掲載させていただきます。

1、高齢化に向けて

現在、65歳以上の高齢者が人口に占める割合 いわゆる高齢化率が年々上がっており、塩竈

市においても同様であり、今後益々高齢化が進むものと思われま。塩竈市に於いての高齢化の現状と今後どう対応していくのかビジョンをお聞かせ下さい。

次に回りを見渡してもお年寄りの方の一人住まい、いわゆる独居老人の方が目に付き、年々増えている様に思います。この独居老人の方達への対応はどうなっているのかお聞かせ下さい。

また、先週土曜日に発生した岩手・宮城内陸地震の様な災害が発生した場合の対応についてもお聞かせ下さい。

知り合いの身寄りの居ない方が亡くなり、福祉課の皆さんにお世話になりました。また、以前に生活保護を受けていた方の葬儀に立会ったことがありました。比較をしてみますと、生活保護を受けていた方はお経を上げていただいて火葬に入りますが、税金を今まで払ってきた身寄りのいない方については、お経もなにもない、いきなり火葬に入りました。本来税金を払っていた人ですから、もっといい対応があつていいと思います。その辺の考えをお聞かせ下さい。こういった方への対応についての基準はあるのでしょうか。



猪口邦子 元担当大臣と

2、市立病院について

『塩竈市立病院の今後のあり方審議会』がスタートし、1回目の会合が開催され議事録を読ませていただきました。今後5回の会合で10月下旬まで答申の予定のようですが、予定通り10月下旬には答申出来るのでしょうか。

例えば、経営形態を「公設民営」であるとか、「独立行政法人化」するとか、はたまた現状とおりの「公営」で行くとか、ある程度の道筋をつけないと進まないように思いますがどうでしょうか。お考えをお聞かせ下さい。

また、先月『公的病院改革のあり方』についてセミナーを受講してきました。この中で富山県氷

見市の市長による『氷見市民病院経営改革』の説明がありました。この氷見市民病院は公設民営化をしたわけですが、その中で大切なのは、「市民と市議会の理解」であると話しておりました。『塩竈市立病院の今後のあり方審議会』は、公開制ではありますが、市民の理解を得る意味では、審議会の審議内容について、何らかの形で市民に逐次報告が必要ではないかと私は思いますが如何でしょうか。この議会と同じように、マリネットさんのテレビ中継やら、ベイウエーブさんのラジオ放送の中継とかは可能かどうか。また、今後の市立病院の方向性についてお聞かせ下さい。

3、原油高騰について

最近、原油の高騰による影響が様々な分野で出ております。私の身の回りをみますと、マイカーのガソリンが一頃の1.5倍になりましたし、暖房や給湯で使う灯油についても倍くらいになりました。

これは原油高騰とは違いますが、バイオエタノールの増産から穀物の値が上がり、原油高騰と相まって私達の生活を圧迫し、この原油と食糧高が、世界的な大きな問題となっております。

先日の新聞で「カツオ・マグロ」の原油高騰により漁を休むといった記事が掲載されておりました。様々な分野で原油高騰による影響が出ておりますが、塩竈市ではどんな影響がでているのか。また、問題点があればお聞かせ下さい。そして、それに対する対策も合せてお聞かせ下さい。

4、路線バス空白地対策について

『しおナビ100バス』は、市民の足として定着しており、乗車率も高く、大人気のようです。この『しおナビ100バス』の空白を埋めるため、『路線バス空白地 対策』が4月の常任委員会で概案が示されました。概案では、東部地区として(牛生町や芦畔町等)、北部地区として(青葉ヶ丘等)、西部地区は(大日向・母子沢)をあげておりますが、その外の地域についても、少しでも多くカバーする様なルートでお願い致します。

また、『しおナビ100バス』やその他の路線バスの路線と重複しないルートでお願い致します。例えば、青葉ヶ丘に行くにしろ、宮町からストレートに庚塚に向かうのではなく、小松崎経由で行くとか、帰りは藤倉を通過して北浜を通過するというような、

既設のバス道路から少しでも外れる形で計画はできないでしょうか。それから、3ルートを6ルートに増やし、一日置きのルート運営でもいいのではないのでしょうか。



塩竈出身の小野金夫タイホーグループ会長と会派で

平成20年12月の定例議会での質問

※紙面の関係で私の質問のみを掲載させていただきます。

1、市長の政治姿勢について

「塩竈市立病院の今後のあり方審議会」の答申書を受けて、来年1月に改革プランが策定されるようであります。答申書を読ませていただきましたが、どうも私には思い切った改革が行われるようには思えません。

これまで議会で、何度も質問を受け、また過去に全員協議会も開催されていると聞いております。現に私も ことある度に市立病院について質問をさせていただきました。なんらお金もかからない意識革命が大切と何度もこの場で言わせていただきました。しかし対応として、意識革命が成されていると思われることは一切ありませんでした。

市立病院の累積赤字を見ますと、一朝一夕にして出来たものではありません。失礼ではありますが、今回の答申書を受けての改革プランで黒字化し、今までの累積赤字を解消するとは、かなり可能性が低いと私は思っており、むしろ、今回の処置は結果を先送りするだけで、益々 累積赤字を増やす結果になるのではと心配をしております。どうでしょうか？ 市立病院はどうなるのでしょうか？ 市長は、市立病院をどうなさるつもりなのか方向性だけでも お聞かせ下さい。

過日、市当局より、今後の市立病院と魚市場へ

の繰出しについての計画案が出されましたが、財政健全化法への対応策で市立病院については特例債により約12億借入。魚市場については、一般会計から約8億の繰り出しによる累積赤字の解消しようとするものです。これについてはある程度は理解出来るものの、その後、一般会計からの繰り出しによる支払い計画があることについては理解できません。

最初から、市立病院を黒字化し、市立病院の手で、今までの累積赤字分を支払うという計画ではなく、一般会計からの繰出しで支払うというのはいかかでしょうか。これは、改革の意思がないとしか思えません。やはり、改革を進め市立病院や魚市場が黒字化を図り、累積赤字を少しずつでも努力して返済していく という形が市民に納得してもらえる形ではないのでしょうか。

市長の見解をお聞かせ下さい。

2、豪雨対策について

藤倉二丁目の方より 豪雨について相談がありました。雷雨等の急激な降雨時に局地的な洪水が生じて困っているとのこと。

現在、塩竈市では雨水排水のポンプ場の建設中で現在は、時間当たり40mmの降雨量に対する対応が出来、将来的には10年に1回あるかなにかの時間当たり52mmに対応出来る能力になると聞いてはおりますが、この藤倉二丁目の一部では、今年夏の雷雨で浸水ぎりぎりまで水かさが上がったということです。

今年は、全国各地で発生したゲリラ豪雨のニュースが、たびたび報道されました。幸運にも塩竈にはなかったものの温暖化のせいでしょうか、何時何処に起きても不思議がないのが最近の気候です。

私が、問題視したいのは塩竈市内どこでもそういった話が聞かない中、藤倉二丁目のこの地区では大変な思いをしていたということです。この実態・事実を市当局では、把握していたのでしょうか。また、こういった豪雨に対する対策や今後の計画がありましたらお聞かせ下さい。

3、市道・公園関係について

清水沢公園の東側と南側 そして西側の樹木ですが、落葉の時期に、付近に お住まいの人達

は毎朝落ち葉の掃除や側溝が落ち葉で詰まるなどかなり大変なようです。毎朝、自分の家の回りだけで ゴミ袋三つになると言っております。南側と西側についてはイチョウの木が、そして東側についてはケヤキが伸び放題になっております。地球環境的にはいいと思いますが、伸ばし放題では回りの人達が大変ではないでしょうか。公園内は伸ばし放題でもかまいませんが、せめて道路沿いについては、枝を整理するなどの剪定が必要なのではないでしょうか。市内各所の こういった、街路樹や公園の管理についてどうされているのかお聞かせ下さい。



4、廃屋への対応について

高齢化が進んでいる塩竈だからでしょうか。市内各地で廃屋が目立ちます。この廃屋、きちんと定期的に草取りや家屋の整備がなされているものについては たいした問題は無い訳ですが、明らかに管理がなされていないものが多数見受けられます。

こういった廃屋は、防犯上 また防災上も問題あるのではないかと思います。市当局では、こういった廃屋現状を把握しておられるのでしょうか。また、この廃屋への対応についてお聞かせ下さい。

5、教育関係について

最近、私は大塚貢さんという方を知りました。この大塚貢さんは上田市の教育委員長を務められた方で、町全体の小・中学生の非行・犯罪をゼロにし、学力も全国平均を上回る優秀な町にした方です。その必要な改善は三つだそうで、「授業」、「給食」そして「花づくり」でした。

塩竈については、この「授業改革」、「給食の改善」そして「学校内に潤いと癒しが感じられる花壇

づくり」に力を入れていただきたいわけですが、今回は特に「給食の改善」を提案したと思います。

この中で給食については、「ごはん」と「魚」、「野菜」中心の給食への改善に取り組んだことです。宮城県は米どころであり、塩竈は魚と社の町ですし、近郊では新鮮な野菜がとれます。この立地条件を生かし、給食を米飯に、そして野菜と魚中心の給食に変えてはどうでしょうか。

塩竈市の給食の魚や肉そして野菜の使用実態についてお聞かせ下さい。また、今後の給食を米飯そして野菜と魚中心のメニューに変えることについてのご意見をお聞かせ下さい。

また、教育関係につて 浦戸二小と浦戸中学校の教育成果についてお聞き致します。

11月1日に壺番館遊ホールで開催された、演劇自主公演『とーんび まわれー まわれー』ですが、小・中学生 全校生徒が一致協力をして作り上げた素晴らしい演劇を見させていただき、ありがとうございました。私は とても感激を致しました！

この浦戸二小と浦戸中学校の取り組みは、大変素晴らしいもので、あまり誇れることの少ない中、塩竈のイメージアップに大いに貢献するもので、市内はもとより県内・全国に発信すべきものではないかと思っておりますが、いかがでしょうか。



少林寺拳法塩竈道院入会者募集

現在、3才児から大人まで楽しく稽古をしております。もちろん女性や高齢者の方も大歓迎です。

とっさの場合、頼りにできるのは自分だけ護身術として少林寺拳法を初めてみませんか。

◎稽古会場 少林寺拳法専有道場(梅の宮)

◎稽古日 毎週火・木 午後6時半～9時まで

土 午後1時半～4時まで

◎問い合わせ 090-8921-3783(鎌田)